

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課
☎0920(54)2341

対馬各地の地名

(大字編)

【上県町御園】

読み方について『津島記事』でも「園」を「そ」と呼んでいると記されています。江戸時代の正保2年(1645)の記録には、三岨と書かれています。

語源については、本宮八幡宮の社領であったためと伝えられています。詳細は不明と『津島記事』にもまとめられています。

【上県町犬ヶ浦】

読み方について『上県町誌』『角川地名大辞典』などは「いぬがうら」とし、地元では「いんがうら」と呼んでいると述べています。

語源については『津島記事』によると、村に伝わる話として昔、左大臣がこの浦に来て里を拓き、その居

所を「院」と呼んだことから、院の浦と呼ばれるようになったと指摘しており、江戸時代の記録にも「院の浦」と表記しているものがあります。

【上県町瀬田】
『上県町誌』では、水が激しく流れている場所を意味する「川瀬」が語源となっていて、流れが緩やかになり泥土が形成されやすい下流の「仁田」に対して、川に

【上県町榎滝】

『津島記事』によると、古い文書に「榎嶽」と書いて「かしたけ」と呼んでいるものがある指摘されています。滝と嶽は、発音が似ているため、それが訛って「嶽」を指して「たき」と呼ぶようになり、のちに「滝」を充てるようになったのではないかと推測しています。

【上県町飼所】
『津島記事』によると、本来「飼は峽、所は床」という字が正しいと指摘しています。峽という字には、山あいの谷部という意味があり、床には平坦地という意味があることから、飼所川沿いの山あいにある平坦な場所という環境が語源となつていとされています。



瀬田 馬事公園

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

- つしま図書館では、皆様からの本の寄贈を受け付けております。読み終えて不要になった本はありませんか？ 図書館カウンター・各公民館で受け付けています。詳しくはつしま図書館まで (☎52-3900)

12月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

今月のおすすめ新着本

『まっすぐ編みの巻きもの』 レディブティック/編

“まっすぐ編むだけ”のできる秋冬にかかせない巻きもの本。はじめてでもどんどん編める、マフラー・スノーードなど40点掲載。棒針とかぎ針の作品をそれぞれ詳しく写真つきで解説。

『ハケンアニメ!』

辻村 深月/著

伝説の天才アニメ監督王子千晴が、9年ぶりに挑む『運命戦線リデルライト』誰かの熱意が、各人の思惑が、次から次へと謎を呼び、新たな事件を起こす!

『腰、膝、肩、首の慢性痛が手術なしで治る トリガーポイントほぐし』

加茂 淳/編

腰などの痛みは、筋肉の硬縮と脳へのストレスが原因の筋痛症だという。これを治すための、筋肉が硬縮した場所・トリガーポイントほぐしなどの方法を紹介する。

『やろうよ陸上競技』

中田 有紀/著

競技を始めたばかりの子や、もっと上手になりたい子のための競技別レッスンシリーズ。かけっこ(50m走)・走り幅跳び・ハードル走の基本を、写真やイラストでわかりやすく解説する。

『季節をたべる秋の保存食・行事食』

濱田 美里/著

干し芋・ドライフルーツ・栗の甘露煮・あじの一夜干し・りんごジャム…。秋にしか作れない、旬の食べ物を使った保存食と、お月見、お彼岸の行事食の作り方を紹介。

『クレヨンからのおねがい!』

ドリユー・デイウォルト/著

ケビンがクレヨンの箱を出すと、自分宛の手紙の束が。それは、クレヨンからの手紙で…。ユーモアあふれる視点で、クレヨンたちの気持ちを代弁したユニークな絵本。